

**おそきの学校と地域を考える会 平成28年度活動計画**

**市民提案協働事業「ようこそ おそき事業」が採択される**

今年度の考える会の主要事業として考える会が青梅市に申請していた「ようこそおそき事業」が採択（承認）されました。事業の概要は以下のとおりです。



2次審査プレゼンテーションの様子

**1. 事業の目的**

- \* 青梅市内でも人口減少の進行が早期に進んでいる小曾木地区で、その進行に歯止めをかけるための施策を実施し、子や孫の世代が住み続けたいと思える小曾木地区、青梅市へ近づけるよう行動する。⇒できることから市内全域で始めたい。
- \* イベントを通じて地域の良さを実感⇒定住を促進
- \* 地域外の方に「来て」「体験」していただき、地域の良さを実感⇒移住を促進

**2. 事業の詳細**

- 1) おそきDE恋活(れんかつ)プロジェクト  
⇒企画政策課との協働
  - 行政テーマ提案「若者の出会いの場の設定、女性が活躍する環境づくり」
  - 小曾木地区を舞台に信頼感の高い出会いの場を(おせっかいな)女性中心に企画し創出
  - 20~30代バージョンにプラスし、40代バージョンを設定実施
  - 募集は知り合いのつながりを通じた募集を基本として地域は市内だけに拘らず展開
- 2) 女性活躍の市内への情報発信  
⇒市民活動推進課(地域支援係)との協働


- 行政テーマ提案「女性が活躍できる環境づくり」
  - 考える会の女性の活発な活動と自治会との係わり  
の他地域への情報展開
- 3) おそきDE プチ田舎暮らし体験  
⇒農林課、都市計画課との協働
    - 田植え、田んぼの手入れ、稲刈り、収穫までを一貫とした事業
    - さつまいも植え、手入れ、収穫までを一貫とした事業
    - 農住調和を意識し地域外の方々への地域アピールに主眼をおいて行う
  - 4) 簡易手づくりハイキングマップの作成  
⇒商工観光課との協働
    - 飯能駅、青梅駅から岩蔵温泉へのハイキングマップ、ルート案内の作成
    - 東部活性化を意識し地域外から小曾木地区へ足を運びやすくする事業
  - 5) 空家バンク充実事業 ⇒ 住宅課との協働
    - 空家バンクの運用を充実させ、小曾木地区への移住を推進するとともに青梅市全体への展開を促進する事業
  - 6) 地域住民アンケート  
⇒市民活動推進課(地域支援係)との協働
    - 小曾木地区住民への地域創生に関するアンケート&他地域への情報展開
    - 定住意識、充実感、不安面、今後のイメージ創りなど地域魅力向上に主眼を置いたアンケートを地域全員へ実施



稲の種まき

**従来から実施している「おそきだよりの発行」、「おそき一斉メール」、「ホームページ」、「フェイスブック」なども継続します**

◎「おそき一斉メール」に登録を！！  
地域情報を週1回程度、また、緊急時に地域情報を登録された方に無料でメール配信しています。[osokinogakkou@gmail.com](mailto:osokinogakkou@gmail.com)  
下記アドレスに空メールを送ると登録できます。  
◎おそきだよりへの記事、行事、写真等の紹介をお願いします。  
ご連絡はおそき一斉メールアドレスへメール、または、小曾木市民センターへお願い致します。



**1面表題脇の乙黒地区の「ホトギス」の写真**  
今月の野鳥はホトトギス。キョッ・キョッと鳴き“特許許可局”などと聞きなすことで知られ、夏鳥として渡来し、初夏、朝夕、夜中にも大きな鳴き声が響きわたり夏の訪れを告げてくれますが「声はすれども姿は見えぬ」この鳥を見ることはまれです。カッコウの仲間でも最少、大きさは28センチでヒヨドリとほぼ同じ、ウグイスの巢に托卵することも特徴です。(撮影、文：山崎弘)

**編集後記**

おそきだより第16号の編集作業が終わりました。編集発行も5年目となります。地域の身近な話題から地域課題まで、小曾木地区のみなさんと情報を共有することが課題解決には必要と考え、また、定期的活動でもあり、活動の核と位置付けての発行開始でした。最初の2年程は学び考えることが中心だった考える会の活動は、現在、考え行動する形へ進化しました。子どもたちの笑顔をエネルギーに、その笑顔が地域で

孫子の世代まで見られることを願って、できることを行っています。「小曾木に住みたい」という問い合わせを受け、ホームページを紹介して入居される方も居られます。物件とご希望が合わない方も多々あります。今年の第七小1年生が14名。小曾木に居たからいろいろ体験できて楽しかった、良かったと大人になって思えるような地域でいられればと思っています。声をかけると手伝ってくださる方々、「カルガモがいるよ」などと情報をくださる方、私の心はそんなみなさんに支えられて活動を続けています。(若林良弘)